

関係者各位

公益財団法人 日本ライフセービング協会

オープン日本代表監督 植木 将人



LIFESAVING WORLD CHAMPIONSHIPS 2026 オープン日本代表
選手選考方針・基準について

LIFESAVING WORLD CHAMPIONSHIPS 2026において国別チーム総合5位を達成することを目標とし、下記の選手選考方針・基準に則りオープン日本代表選手を選出する。

記

1. 選手構成

LWC2026 オープン日本代表は以下の構成（女子 6 名・男子 6 名）を原則とする。

選手の役割区分を下記のとおり示す。ただし、選考対象競技会等におけるパフォーマンスが想定構成と大きく異なる場合、代表チーム全体の最大成果を優先し、構成を予告なく変更する場合がある。

選 手 A	・	ビーチ種目選手枠
選 手 B	・	プール種目選手枠
選 手 C	・	プール種目選手枠
選 手 D	・	オーシャンマン／オーシャンウーマン種目選手枠
選 手 E	・	オーシャンマン／オーシャンウーマン種目選手枠
選 手 F	・	上記 A～E の状況を勘案し、最適と判断される選手

2. 選考基準

2025 年 3 月 17 日に公開した募集要項「第 14 期ハイパフォーマンスチームについて」に記載のとおり、選考対象競技会等の結果を参考に、第 14 期ハイパフォーマンスチームから選考する。また、国際競技力・将来性・チームバランス等の観点から、必要に応じて追加評価を実施する場合がある。

<追加補足>

「選考対象競技会等」とは、2026 年 6 月 30 日までに実施される競技会および強化合宿等を指す。併せて、下記の選考会を選考対象として追加する。

- ライフセービング日本代表プール競技選考会
日程：2026 年 5 月 23 日(土)～24 日(日)
会場：アクアティクスセンター（東京都江東区）

条件

- 2026年（令和8年）12月31日時点で16歳以上であること。
- 日本代表に選出される時点で、本協会が認定するベーシックサーフライフセーバーまたはプールライフガードの資格を取得し、過去1年以内にパトロール経験があること。ただし、16歳の選手は本協会が認定するBLSおよびウォーターセーフティ資格を取得していること。なお、本協会が認定する資格が未取得の場合、国際ライフセービング連盟が定める資格に準拠する各国資格を取得済みであれば、本協会が認定する資格と同等とみなす。

3. 追加評価（総合判断）

選考対象競技会等の成績のみで優劣を判断できない場合、または代表チームの競技力最大化を図るため、以下の観点から総合的に評価を行う。

- 国際競技力の観点

国内競技会の成績だけでなく、国際大会における競技適応力、海外選手との比較、波・環境への対応力、技術面の安定性などを総合的に評価する。

- 将来性の観点

当該大会のみならず、今後の国際大会や将来の日本代表強化に寄与する成長性、改善度、トレーニング状況等を考慮する。

- チームバランスの観点

リレー種目の編成、競技分担・バランス、種目偏重の回避など、チーム全体として最大の成果を得るために必要な構成を踏まえて判断する。

- その他の総合判断

代表選手としての行動規範の遵守状況、怪我や健康状態、国際遠征への適応、チームワークなど、競技力以外の要素を総合的に勘案する。

なお、上記の追加評価は、選考対象選手が同程度の成績である場合や、選考対象競技会等のみでは判断が困難である場合に適用するものであり、最終的には代表チームとしての総合力が最大化される選考を行う。

4. その他注意事項

- 日本代表派遣にあたり、自己負担経費が生じた場合、その負担が可能であること。
- 病気・怪我等により派遣が困難であると判断される場合、選考条件を満たしていても選出しないことがある。なお、派遣に影響を及ぼす病気・怪我が発覚した場合、選手は遅滞なく報告すること。報告がなかった場合、選考対象から除外する。
- 社会情勢・大会運営方針・渡航条件等の変動により、本選考方針・基準は変更される場合がある。改訂時には速やかに通知する。
- 選手は、日本代表としてふさわしい行動・姿勢を遵守すること。著しい問題行動があった場合、選考対象外とすることがある。

以上